

のり養殖通報第6報

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所

千葉県農林水産技術会議 平成30年12月5日発行

【気象・海況】 栄養塩は回復、水温は高め傾向

- 気温は10月以降一時期を除いて平年より高めで経過している。特に11月前半は非常に高め傾向が続いた。気象予報では今週末以降は冬型の気圧配置が続き平年を下回る気温が続くと予想されている。
- 12月3日の観測では、全域で植物プランクトンは減少し透明度が回復。周期的にまとまった降雨もありノリ養殖漁場近辺の栄養塩は窒素、リンともに増加し、色調良好なノリの生産に必要なレベルを上回っている。表層水温は15~17℃台で前年同期より1℃程度高めであった(表1)。
- 新富津漁協自動観測ブイによる観測値では水温は、11月上中旬は19℃台での停滞が続いた。下旬以降は徐々に低下しているが、現在の水温は18℃前後で概ね昨年比+2℃程度で推移している。

【今後の留意点】 良い場所を有効に

- 各地区で収穫が行われていますが、場所によってはノリ芽の短縮化が続いています。この短縮化は魚類、鳥類の食害や水温停滞の影響など様々な要因が考えられます。
- 魚類による食害の衰退にはさらなる水温降下が必要になります。当面は比較的伸長が良い場所を有効に活用し、食害防止などの対策を施しながら状況好転を待ってください。
- 東京湾漁業研究所でも生産者の方々と連携して実態把握と原因解明に向けた取り組みを続けていきます。

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードしてご覧ください。
 次回は12月19日頃発行します。

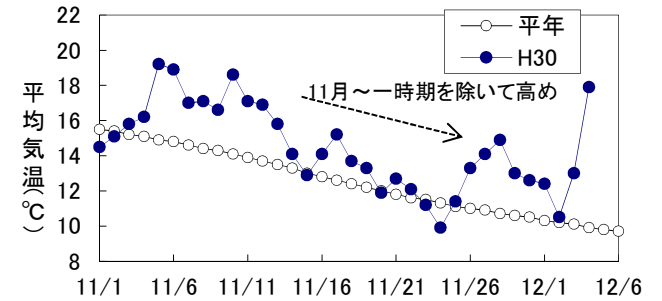


図1 日平均気温 平年との比較(千葉)

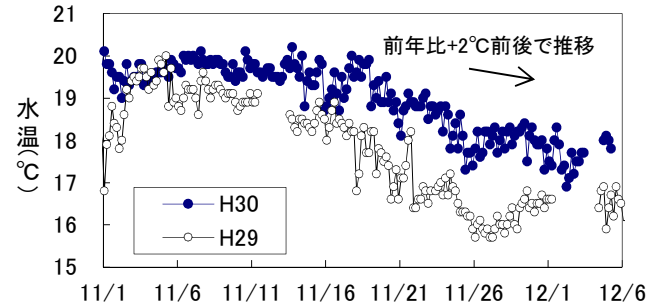


図2 昨年と今年度の水温の比較(新富津観測ブイ)

表1 水質観測結果(12/3)

	水温	塩分	pH	透明度	窒素*	リン**
船橋	15.9		8.5	5.5	417	48
盤洲Cブイ	16.8		8.4	7.0	276	29
盤洲Bブイ	16.7		8.4	6.0	267	26
盤洲Aブイ	16.8		8.3	9.0	243	20
富津ベタ	17.4		8.2	5.0	285	23
2海ほ下	17.6	33.2		7.0	175	19
大貫沖	17.8	33.4		10	149	15

*溶存無機態窒素 (μg/l)、**リン酸態リン (μg/l)

※高色調のノリの生産に必要なレベル 窒素 110 リン 8

ノリの色調の保持や健全な生育に必要なレベル 窒素 90 リン 5

※内湾の塩分は正確に測定できなかったため欠測とします。